

商工連プラザ

3
VOL.346

商 工 会 は 行 き ま す 聞 き ま す 提 案 し ま す



1. 大学通りの歩道橋からの満開のソメイヨシノの眺め:春は通りの両側を約170本の桜が彩ります。他の季節も、銀杏やケヤキ、松などの木々が彩り、新東京百景にも選ばれています。2. 谷保天満宮例大祭の万灯行列:各町会から1基ずつ、さらに子ども万灯も加わった12~13基が、谷保駅ロータリーから谷保天満宮境内まで約2時間かけて勇壮に練り歩きます。3. 谷保第三公園のどんと焼き:年明けに行くにたちの恒例行事「壱(さい)の神どんと焼き」です(写真は市内4カ所で開催するうちの1つ)。4. 谷保天満宮の丑(うし):湯島天神、亀戸天神とともに江戸三大天神として有名。学問の神様である菅原道真公が祀られ、牛にまつわる伝承が数多く残っています。牛は道真公のお使いとされ、伏せた姿の石造りの神牛が置かれています。

▶ CONTENTS

- 2 地域連携型事業承継ネットワーク会議
地域でつなぐ「事業承継」の実現に向け、課題を地域でサポートするための5つの取り組みをまとめる
「東京都中小企業振興ビジョン」を策定(東京都)
高い数値目標を設定し、実現に向け5つの戦略を示す
- 3 公労使による「新しい東京」実現会議
東京2020大会を契機とした働き方改革と円滑な運営に向けた取り組みで共同宣言
- 4~5 地域活性化シンポジウム「東京都の中小企業振興ビジョンと多摩地域」を開催
- 6 賀詞交歓会 東京都商工会連合会/東京都商工会青年部連合会/東京都商工会女性部連合会
・武蔵野エリア産業フェスタ
- 7 <連載>「島おこし・多摩おこし」(かめや不動産/国立市)
・多摩地域商工会エリアの景況
- 8 多摩・島しょ地域のイベント(4~5月)
・Tokyo 島まるしえ

国立市
kunitachi

発掘! 商工会地域の観光資源

国立市の名は、駅が国分寺と立川の間に立地することから、両方の頭文字を取ったもの。「この地から新たな国が立つ」という願いとあいまって受け入れられたとされています。

国立駅からまっすぐ伸びる大学通りやその周辺には、文教地区にふさわしいまちなみが整備され、閑静で良質な住環境が広がっています。近年は、様々な魅力を持った人々が集い、商店街にも個性的な店舗が軒を連ね、多くのギャラリーによる多様性のあるネットワークが形成されるなど、まち全体に文化の気風があふれています。

文教地区指定の動きに見られるように、国立市民は、自分たちの住むまちを自ら作り上げてきました。市民はそのことを誇りとし、先人たちの想いを受け継いでいます。こうした市民意識の高さは国立市の財産であり、他の地域では見られない大きな特徴となっています。

表 地域連携型事業承継の実現に向けて必要な取り組み

1. 継続的な啓発活動	・後継者不在事業者に対して第三者承継の選択肢に気づきを与えるための情報発信(意識付け)
2. 情報の収集	・後継者不在事業者の早期把握(相談しやすい風土づくり、地域に密着した連携等) ・事業を引き継ぐ意欲のある事業者(個人・創業者)の発掘(SNS活用等)
3. 情報の整備	・上記2の情報整備 ・企業、商品、文化、技術、経験、人脈等の企業価値(有形・無形)の情報整備
4. 事業の磨き上げ	・企業価値の向上(ファンづくり、引き継ぎやすい体制整備) ・情報の発信(地域ブランド情報等)
5. 支援体制の整備	・スタートからフォローアップまでの一貫したサポート(専門的支援、資金的支援等) ・地域内のネットワークづくり(地域内信用力強化)

地域における事業承継について意見交換、情報交換を行い、地域連携型事業承継の推進に向け、必要な取り組みを体系的にまとめることになりました。

東京都商工会連合会の「多摩・島しょ経営支援拠点」は、地域に必要な事業(商品・サービス・ブランドなど)を地域の事業者(個人)が引き継ぐ「地域連携型事業承継」を推進するため、『地域連携型事業承継推進ネットワーク会議』を開き、議論しました。

地域でつなぐ「事業承継」の実現に向け、課題を地域でサポートするための5つの取り組みをまとめる

多摩・島しょ経営支援拠点

地域連携型事業承継

推進ネットワーク会議を開く

同会議は、後継者不在の小規模事業者をはじめ、地域貢献意識や事業意欲の高い企業・個人、中小企業診断士、商工会経営指導員の17人で構成しました。昨年9月からこれまでに会議を4回、先進事例研究などの勉強会・交流会を3回開きました。

■**実現するための5つの取り組み**

長年地域で親しまれた商品がなくなるのを別業種の会社が引き継ぐケースや常連客がお店を引き継ぐケースなど、地域連携型事業承継の実現には様々な要素やタイミングが複雑に絡みます。この事業を推進していくには、ベースとなる支援体制を構築し継続的に取り組んでいくこ



▲第2回ネットワーク会議

とが必要で、会議では、必要とされる取り組みを「継続的な啓発活動」「情報の収集」「情報の整備」「事業の磨き上げ」「支援体制の整備」の5つの項目にまとめました(表参照)。

■**地域一体でサポートする体制の構築が急務**

東京都 東京都中小企業振興ビジョンを策定

高い数値目標を設定し、実現に向け5つの戦略を示す

東京都は1月28日、都内中小企業が時代の変化に適応して持続的な成長ができるよう、中小企業の振興を総合的・計画的に進めるため「東京都中小企業振興ビジョン」未来の東京を創る5戦略」を策定し、発表しました。「東京の中小企業振興を

後継者不在による小規模事業者の廃業は年々増加し、このままでは地域に必要な事業等がなくなり、地域全体が疲弊していくことが容易に想像できます。事業承継は個人や一企業だけの問題でなく、地域社会全体の問題になっていると言えます。

議論の中でも、地域において様々な役割を担う方々が一体となってサポートしていくことが重視されました。また先進事例でも、地域の実情を踏まえた取り組みが成功へのポイントとなっているため、地域ごとにサポート体制を構築していくことが有効であるとの合意を得ました。

今後、商工会をはじめ、行政、各種支援機関、地域の有力企業や個人などが一体となった事業承継サポートの実現を目指します。

考える有識者会議」での議論を踏まえ、取りまとめたものです。

ビジョンでは、都内産業の現状や、グローバル化、ICT技術の拡大、人口減少の3つの環境変化と、それに伴う社会経済の動きを分析し、都内中小企業が目指すべき10年後の姿

を示しました。ビジョンで掲げる施策を加速させるため、高い数値目標を設定し、その実現に向けた5つの戦略と当面の施策展開を示しました。

都内中小企業の10年後の「目指すべき姿」に掲げたのは、①持続可能性のある経営を実現②イノベーション創出や海外展開による力強い成長③世界有数の起業しやすい都市へと発展④小規模企業の活躍等による地域力の向上⑤多様な人材が中小企業で活躍、の5つです。

設定された数値目標と達成するための5つの戦略および施策の方向性は以下の通りです。

戦略1 経営マネジメントの強化

目標 都内の黒字企業50%超

- ①ICT化の推進や設備導入などによる生産性の向上、販路開拓の強化②経営の安定化に向けた基盤づくり③危機発生時の事業継続に向けた対策の推進④円滑な事業承継へのサポート

戦略2 中小企業の成長戦略の推進

目標 売上高が前年比増となる都内中小企業数が55%以上

- ①次世代型ものづくりのサポート②革新的な製品やサービスの創出への支援③オープンイノベーションの促進④社会的な課題解決に向けた開発への支援⑤中小企業の海

外展開への後押し

戦略3 起業エコシステムの創出

目標 都内の開業率12%

- ①起業が身近な選択肢となる環境の整備②ベンチャー企業の育成支援③世界に通用するベンチャー企業を数多く生み出す重点的な支援④女性の起業家等により一層の活躍の後押し⑤質と量の両面からの着実な起業支援

戦略4 活力ある地域経済に向けた基礎基盤

目標 都内全ての自治体で経済成長率がプラス

- ①地域のものづくり企業の集積を生かした産業の発展②小規模企業の持続的発展に向けたきめ細かい支援③商店街の活力向上のためのサポート④多摩・島しょ地域のポテンシャルを生かした産業の活性化⑤地域金融機関等からの円滑な資金調達

戦略5 人材力の強化と働き方改革の推進

目標 都内企業(従業員30人以上)のテレワーク導入率70%

- ①中小企業の成長を支える人材の確保と育成の強化②中小企業における中核人材の育成促進③多様な働き方を実現する職場環境の整備

(4~5面に関連記事)

「東京2020大会を契機とした働き方改革と円滑な大会運営に向けた取り組み」で共同宣言

「スムーズビズ」をレガシーに！ 東京都 公労使による「新しい東京」実現会議 開く

公労使による「新しい東京」実現会議が2月1日、都庁で開かれました。テーマは「東京2020大会に向けた社会全体で『働き方』を変える取り組みを加速」。小池百合子東京都知事からの取り組みへの協力要請や、経営者団体・労働団体の発言のあと、共同宣言を発表しました。

会議の席上、小池都知事は「東京2020大会における最大の課題は交通の混雑をどう抑制・緩和し、円滑な経済活動を維持するか」と指摘しました。その解決法として、テレワークや時差ビズ、交通需要マネジメント(TDM)などを挙げ、「二連の取り組みをスムーズビズと呼び、取り組みが大会後も企業活動のモデルとなり、ソフトなレガシーとして定着することを期待したい」と出席者に協力を求めました。



▲意見を述べる村越会長

人事交流

【退職(1月31日)】▽東京都商工会連合会・地域振興課・業務支援員 大野仁美

した村越政雄東京都商工会連合会会長は「小規模企業の働き方は非常に多様であり、画一的な改革は難しい。大企業の働き方と小規模企業の働き方の間に格差ができてはいけない」との意見を述べました。



▲共同宣言を発表

訃報



新島村商工会会長 大沼登良氏

大沼 登良氏(おおぬま・とらお)新島村商工会会長、サーフステーションハブシ経営は、1月22日にご逝去されました。68歳でした。謹んでご冥福をお祈りいたします。

追悼

新島のレジエンドサーファーとして観光産業を牽引し、離島ブームの陰り、リーマンショックの影響で落ち込む新島村の産業を盛り上げるため、20年間にわたり理事、副会長、会長と歴任し、新島村商工会の顔だった会長！いいえ、「とらさん」なんてそんなに急いで向こうに行っちゃったんですか？

新島村商工会事務局 前田 謙

地域活性化シンポジウム

「東京都の中小企業振興ビジョンと多摩地域」を開催

主催 東京経済大学・多摩信用金庫／後援 東京都・東京都商工会連合会

東京経済大学と多摩信用金庫が主催し、東京都、東京都商工会連合会（都商工連）が後援する地域活性化シンポジウム「東京都の中小企業振興ビジョンと多摩地域」が昨年12月、国分寺市の東京経済大学で開かれました。東京都の「中小企業振興ビジョン」（以下、ビジョン）策定に関わった有識者や多摩地域の企業経営者が、これからの多摩地域の産業振興などについて議論しました。約250人が参加、都商工連関係者約130人が参加しました。

多摩地域の発展に結びつく建設的な意見交換を

シンポジウムの開会に先立ち、小池百合子東京都知事が挨拶し、「多摩地域の製造品出荷額は23区を上回る。今後も多摩地域が東京を引っ張って欲しい。多摩は、産業のポテンシャルが高い地域。有識者会議のビジョン作りでは、東京の中小企業をどう活性化していくか、持続可能にするかを大きな観点とした。このシン



小池東京都知事

ポジウムを通じて多摩地域の中小企業の発展に結びつく建設的な意見の交換ができると期待している」と述べました。

東京都知事 小池 百合子氏

講演1

10年スパンの中長期の中小企業振興ビジョンが必要

東京都産業労働局 商工部長

坂本 雅彦氏

講演1は基調講演として、東京都産業労働局の坂本商工部長が「中小



坂本商工部長

企業振興に関する中長期ビジョンと多摩地域への期待をテーマに、ビ

ジョン策定の背景や、策定後の都内中小企業への施策展開の概要などを説明しました。

坂本部長はビジョン策定の背景として「経済のグローバル化、ICT化、人口の減少が進み、産業を取り巻く環境が大きく変化している。ここで立ち止まって新たな中小企業振興ビジョンを10年スパンで考える必要があると思った」と語り、10年後の目標として都内の黒字企業が50%以上、開業率12%（現在の2倍）など、具体的な数値目標を挙げました。

また、多摩地域でものづくり創業を目指す人への育成プログラムの提供、市町村の地域産業活性化計画に対する補助、広域的な産業交流の中核的機能を持つ拠点を八王子市に建設する、などの施策についても明らかにしました。

講演2

講演2では、有識者会議の委員としてビジョン策定に関わった都商工

連の村越政雄会長、浜野製作所の浜野慶一代表取締役CEO、東京経済大学経営学部准教授の山本聡氏が「東京都の中小企業振興ビジョンの背景と問題意識」をテーマに講演しました。

事業承継、ものづくり人材確保、観光振興を力強く支援

東京都商工会連合会 会長 村越 政雄氏



村越会長

村越会長は、多摩地域の中小・小規模企業の課題として、経営者の高齢

化と後継者難、大手企業の工場閉鎖・移転、人手不足などを挙げ、「課題解決のため具体的な支援事業を進めている。その一つは小規模企業の事業承継支援。地域内の企業が承継する地域連携型事業承継モデル事業や事業承継の前段階（プレ承継）を経費面からも支援する事業承継モデル創出支援事業を開始している」と、事業承継支援に注力していることを強調しました。

また、深刻な人手不足に対応するため、170社と31の支援機関・団体が参加する多摩地域ものづくり人材確保支援協議会を設立したと述べ、

「今後も取り組みを強化していきたい」と意欲を示しました。

一方、多摩の観光振興の面では、45団体が加入するネットワーク型組織である多摩観光推進協議会を昨年9月に設立したことに触れ、「東京2020大会を機に東京を訪れる外国の方に多摩の良さを知ってもらい、観光やビジネスに結び付けたい。多摩地域の観光関連の団体が一つになって海外にも多摩の魅力を発信していく」と力強く語りました。

10数社が起業 自社で起業支援施設を運営

浜野製作所 CEO 浜野慶一氏



CEO 浜野

電気自動車「HOK車」「HOK USAI」や深海探査艇「江戸っ子1号」など積極

的な産学連携で知られる浜野製作所の浜野CEOが講演しました。自社の特徴を、試作小ロット生産設計開発量産加工組立検証の上流から下流までの工程を1社で行うものづくりを実現したことと述べました。「地域の20社と共同で工場見学ツアーやワークショップを実施し町工場の魅力を伝えることや、インターン

シップにも取り組んでいる。また、自社で、ものづくりでの起業支援施設を運営し、これまで10数社の起業に成功している」と語り、参加者の注目を浴びました。

浜野CEOは「ものづくりを残さなければならぬ。一度無くなると元には戻れない」とし、「業界、業種、地域、団体などの垣根を取り払って守っていくべき」との持論を展開しました。

海外展開している企業のほうが 地域の産業をけん引する パフォーマンスが高い

東京経済大学経営学部 准教授 山本聡氏

山本准教授は、「中小企業の海外販路開拓と経営者の情熱」というテーマで講演しました。

「老舗企業、中堅企業、ベンチャーそれぞれが、いかに国際化するかに取り組むべき」と述べ、国際化への情熱がそれを支えると強調しました。起業しすぐに輸出するような「生まれながらの国際化企業」を多摩地域から数多く出すことが、今後、成長セン



山本准教授

ターとしての多摩地域に求められると述べました。

講演3

講演3では、多摩地域の企業の代表として、コスモ計器の古瀬智之社長（サイバーシルクロード八王子会長）、多摩信用金庫の八木敏郎理事長が「東京都の中小企業振興ビジョンを踏まえた多摩地域の産業振興について」をテーマに講演しました。

本質的な意味での「経営」の 承継が必要

コスモ計器 社長 古瀬智之氏



古瀬社長

古瀬社長は、八王子市の産業振興の実行部隊である「サイバーシ

ルクロード八王子」で行っている若手経営者研修塾（未来塾）での経験を基に、「今の若手経営者には本質的な意味での経営の意識が希薄」と指摘。「経営とは利益を得る作業だけではなく、どう社会に貢献していくかという事業目標を真剣に実現しようとする」と、継続的かつ積極的な事業改革が必要と説きました。

そうした経営の実体があれば、経営環境の変化への対応などの経営プロ

セスで、公的機関からの効果的な支援が可能になるのではないかと述べました。

事業者の経営課題のトップは 事業承継

多摩信用金庫 理事長 八木敏郎氏

八木理事長は、まず、多摩地域の人口、事業者数、製品出荷額、産業集積の状況、中小企業の景況、労働人口の予測などのデータを示し、地域の現況について述べました。同信金の調査では、地域の事業者の経営課題で最も多いのは事業承継で、販売戦略・マーケティング、経営戦略・事業戦略がそれに続くと言いました。



八木理事長

また、中小企業への支援事業として、事業承継支援、生産性・海外展開支援、創業支援などの事業に取り組みんでいるとし、その概要を説明しました。

講演の後、坂本商工部長、村越会長、浜野CEO、山本准教授、古瀬社長、八木理事長の6人をパネラーに、会場からの質問に答える形でディスカッションを行いました。

2019年 3つの事業にフォーカス

- 2019ラグビーW杯/東京2020大会へ向け、多摩地域の魅力を海外に発信
- 事業承継への支援強化のため承継の前段階を支援する新モデル導入
- 働き方改革、消費税引き上げ・軽減税率導入に対応した支援

都商工連賀詞交歓会を開く

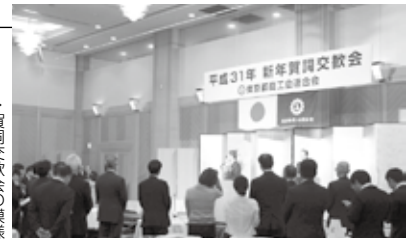
東京都商工会連合会(都商工連)は1月30日、昭島市のフォレスト・イン昭和館で新年賀詞交歓会を開きました。国会議員、都議会議員をはじめ、東京都、関東経済産業局、商工会議所など関連機関からも多数の来賓を迎えました。また、27の商工会から会長・副会長、役員、事務局長などが出席し、合わせて170人を超す盛大な賀詞交歓会となりました。

交歓会は、込山雄茂都商工連副会長の開会の辞で始まり、続いて山下真一都商工連副会長が、欠席した村越政雄都商工連会長の主催者挨拶を代読しました。村越会長は挨拶の中で「都商工連は、現在3つの事業に力を入れている。第1は多摩の観光振興。今年はラグビーW杯、来年は東京2020大会が開催される。これを契機に広域的ネットワークである多摩観光推進協議会が海外に多摩の魅力を発信し、来訪者増につなげていく。2番目は事業承継への支援強化。承継の前段階を支援する新しいモデルで承継支援を行う。3つめは働き方改革の導入や、消費税率引上げ・軽減税率導入に伴う事務負担増など、小規模事業者が直面する問題の解決のための支援」と、今年の事業の方向を示しました。

来賓挨拶では、角野然生経済産業省関東経済産業局長、

藤田裕司東京都産業労働局長からご祝辞をいただき、国会議員、都議会議員、多摩地域の市長からもお祝いの言葉をいただきました。

角野関東経産局長は「商工会連合会さんが作られた事業承継スタートアップガイドは『失敗に学ぶ事例集』として、事業者が新しい気付きを得るという意味で素晴らしい取組」と称賛しました。また、藤田東京都産労局長は「商工会連合会さんは、多摩・島しょの中小・小規模事業者の経営課題の解決はもとより、観光振興による地域活性化にも力を入れている。東京都は昨年末、東京都中小企業・小規模企業振興条例を制定し、1月28日には中長期の中小企業振興ビジョンを策定している。村越会長には策定に向けた有識者会議に参加していただき、貴重なご意見をいただいた」と述べました。



▶賀詞交歓会の模様



▲山下都商工連副会長



▲藤田東京都産労局長



▲ティラノサウルスも登場

小金井市商工会、三鷹商工会、武蔵野商工会が主催する「武蔵野エリア産業フェスタ」が2月7日〜9日の3日間、小

金井宮地楽器ホールで開かれました。三鷹市、小金井市、武蔵野市に拠点を置く中小・小規模企業の受注拡大を目指し、製造業、IT関連、印刷業など42社と、3市の地域内にある大学や支援機関10団体が出展しました。歩く恐竜プロジェクトで注目されているON-ART代表の金丸賀也氏の講演会もあり、全長8mのティラノサウルスも登場しました。

武蔵野エリア産業フェスタ開催

都女連 新春講演会 新年賀詞交歓会を開く

東京都商工会女性部連合会(都女連)は2月8日、立川市のホテルで新春講演会・新年賀詞交歓会を開きました。来賓に、村越政雄都商工連会長、鈴木悟都青連会長らを迎えました。各商工会から女性部員約120人が出席しました。

賀詞交歓会では、廣瀬可世子都女連会長が「女性部員の皆さんの協力があればこそこの都女連。若い部員もこの良き伝統を引き継いで欲しい」と挨拶しました。また、村越会長は「ラグビーW杯や東京2020大会の経済効果を受け止める体制作りは、言わば経過的なステップ。皆さんには、その先を見て準備する1年にしていただきたい」と挨拶しました。

新春講演会では川田恋氏が「相手の心を掴むコミュニケーション術」のテーマで講演。軽妙な語り口で会場を沸かせました。



▲挨拶する廣瀬会長

都青連 新年賀詞交歓会を開く

東京都商工会青年部連合会(都青連)は1月23日、「羽村市生涯学習センターゆとろぎ」で新年賀詞交歓会を開きました。来賓に、村越政雄都商工連会長、傳田純専務理事、増田一仁羽村市商工会会長、廣瀬可世子都女連会長らを迎えました。各商工会から青年部員約80人が出席し、新年を祝いました。

交歓会では、鈴木悟会長が「今年も若手後継者育成事業や経営研修会などにしっかりと取り組んでいく」と挨拶しました。続いて、村越会長が来賓の挨拶に立ち「人口が自然減となると予測される中で、少子高齢化に適応した働き方改革が進行中だ。大企業はすでに対応が進んでいる。このままだと人材は大企業に流れる。これは商工会にとって危機。今年はこのことを真剣に考える年にしよう」と語りました。



▲挨拶する鈴木会長



子どもを見守るまちを大人が作る
株式会社 かめや不動産
代表取締役 渋谷 修一 氏
(くにたち活性化協議会副会長、国立市商工会理事)

多摩おこし・島おこし

この人に聞く

No.14
国立市

一国立駅周辺の商店会が集まって4年前に「くにたち活性化協議会」を立ち上げました。その狙いは?

JR中央線の高架化の話が出てきた時に駅周辺の商店会が集まって対策を協議したことがそもそもの始まり。それが街の活性化を目的とした協議会になった。文教都市の商店街がどうあるべきか? 国立らしさをどう出していくか?などを課題に様々な取り組みを行っている。

一活性化協議会が行っている「くにたち街めぐりフェスタ」も昨秋4回目を迎えました。

お得なクーポン本を片手に街めぐりをさせていただき、地元の商店や飲食店を利用し、知ってもらいたいというのがフェスタの趣旨。寿司が半額、グラスワインが無料などのクーポンもあり、毎年このフェスタを楽しみにしている市民も多い。

一小学生が対象の仕事体験を、協力店が受け入れるという「くにジョブ」というイベントを同時に行っていますね。

2016年に商業便利度調査を受けたところ「国立の店には顔なじみの店主や店員がいて、その人柄が伝わってくる店作りが大切」とされ、「店と客さらにはその子供世代とパートナーシップをはぐむ必要がある」と指摘された。そこで「子どもを見守るまちを大人が作っていくこと」をテーマに掲げ、2017年に子供の仕事体験「くにジョブ」を始めた。昨年11月が2回目。商店・飲食店など20店が協力し、JR国立駅や郵便局、警察署などにも協力していただいた。

一どのような仕組みなのですか?

参加した小学生は、実際にお店などで仕事体験し、55の加盟店で使える商品券(仮想通貨)をアルバイト代としてもらえる。イベント後には商店で使うことができる。保護者の同伴が基本で、昨年は260人の小学生が参加した。和食店での盛り付け・配膳、食品スーパーでの品出し整頓、フランス料理店でのソムリエ体験、美容室でのウィッグを使ったカット体験、国立駅での駅長体験、警察署での指紋採取体験などを行った。

小学生や保護者の反応は様々で、中には予期しない反応もある。回数を重ねることで、見えてくることもある。子供たちが大人になって、どう思い出してくれるかを考えるくらいになるまで、続けていきたい。

〒186-0001 東京都国立市北1-6-7
TEL:042-572-3081
HP:https://www.kameya-inc.jp/



美容室で、ウィッグを使ってカット体験▶

中小企業景況調査

多摩地域商工会エリアの景況

建設、小売、サービスで売上、採算、資金繰りDIがいずれも改善

30年度
第3・四半期
10~12月

製造業

売上高前期比DIが大きく上昇。採算期中DIのプラス幅は3期連続で縮小。資金繰りDIはわずかに悪化。経営上の問題点の第1位は4期連続「従業員の確保難」。

小売業

売上高前期比DIと採算期中DI、資金繰りDIのいずれも改善。経営上の問題点の第1位は15期連続「大・中型店との競争激化」。

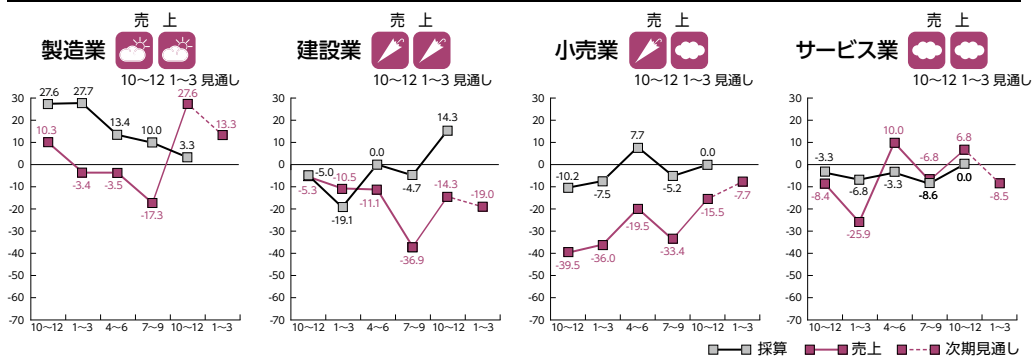
建設業

売上高前期比DIと資金繰りDIが改善。採算期中DIはプラスに。経営上の問題点の第1位は「請負単価の低下、上昇難」から「従業員の確保難」に変わる。

サービス業

売上高前期比DIと採算期中DI、資金繰りDIのいずれも改善。経営上の問題点の第1位は3期連続「従業員の確保難」。

売上高(前期比DI)・採算(期中DI)の推移



調査企業の声

- *ここに来て半導体関連需要が急速に減速したと感じる。(プラスチック加工機械・同附属装置製造業)
- *短期集中で受注増も継続性がない。新規雇用はリスクが大きく、繁忙時の臨時雇用も難がある。あいかわらず官公需要の停滞がうかがわれる。(建築金物工事業)
- *客数が伸びたのは意外でした。インターネット販売が、なかなか伸びないのもっと工夫をしなければと考えています。(男子服小売業)
- *大きな変化はないが、従業員の採用に苦労している。(情報処理サービス業)

注1. DI値(景気動向指数)のプラスは好転、マイナスは悪化とみる。
注2. DIマーク ※:+30~ ☼:+10~+30 ☁:+10~-10 ☂:-10~-30 ☇:-30~
注3. サンプルは多摩地域150企業原数値採用。
注4. 採算は当期中の「好転」-「悪化」のDI値

4月5月 EVENT GUIDE

多摩・島しょ地域のイベント

日程	イベント名	会場	内容	主催者・問合せ先	
3月	28(木)~4月14(日)	はむら花と水のまつり2019 (前期:さくらまつり/羽村市)	羽村堰周辺ほか	桜のライトアップ、足湯、大道芸等のイベントのほか、玉川上水に沿って模擬店が出店する	主催:羽村市。問い合わせ先:羽村市観光協会 (042-555-9667)
	30(土)~4月7(日)	第36回 ふっさ桜まつり (福生市)	明神下公園ほか	多摩川沿いの500本の桜をライトアップ。吹奏楽、鼓笛隊・民謡パレード、アメリカンカントリー演奏、模擬店など	ふっさ桜まつり実行委員会(福生市シティセールス推進課: 042-551-1740)
	30(土)~31(日)	小金井桜まつり (小金井市)	小金井公園	郷土芸能、和洋舞踏、生け花、茶席など	小金井市観光まちおこし協会 (042-316-3980)
	31(日)	春うらら: 国立・立川さくらウォーキング (国立市・立川市)	国立出発コースと立川出発コースの2コース	国立・立川市内の桜を愛でながら、ウォーキング。郷土館で健康チェックや名産品の試食。ゴールで「お楽しみ抽選会」を開催	NPO法人 国立市観光まちづくり協会 (042-574-1199)、立川観光協会(042-527-2700)
4月	6(土)	日の出桜まつり (日の出町)	塩田グラウンド	ステージショー、フリーマーケット、流し踊り	日の出町観光協会 (042-588-5883)
	6(土)	小平グリーンロード花まつり	たけのご公園	模擬店、ポニー、和太鼓、吹奏楽、農産物直売など	ハナデンふれあいロード 小平市グリーンロード推進協議会 (042-464-2235)
	6(土)~7(日)	第9回 稲城市桜・梨花まつり (稲城市)	稲城市役所駐車場ほか	ポンポリの点灯、模擬店、お茶会、大道芸、ミニSL、ハシゴ車体験乗車、ご当地キャライベント、義援金募集など	稲城市商工会 (042-377-1696)
	6(土)~7(日)	第4回 桜まつりぶら~りウォーキング in 武蔵村山 (武蔵村山市)	横田児童遊園、野山北公園 自転車道一部区間ほか	さくら回廊ライトアップ、桜JAZZナイト、ミニSL、花嫁行列など	武蔵村山市桜まつり実行委員会事務局 (042-560-0634)
	6(土)~7(日)	第42回 くにたちさくらフェスティバル (国立市)	谷保第三公園(富士見台 2-34 さくら通り沿い)	桜が咲く中、趣向を凝らした模擬店や、舞台でのダンス・歌のパフォーマンスなど体験型イベントを予定。子供向けイベントも充実	第42回 くにたちさくらフェスティバル実行委員会 (国立市まちの振興課内:042-576-2111)
	6(土)~25(木)	はむら花と水のまつり2019 (後期:チュールリップまつり/羽村市)	桜がらみ前水田(羽中4丁目、羽加美4丁目水田)周辺	約40万本のチュールリップが咲き誇る関東屈指のチュールリップどころ。会場に展望台を設置。模擬店や写真コンクールも実施	主催:羽村市。問い合わせ先:羽村市観光協会 (042-555-9667)
	7(日)	第40回 さくらまつり (瑞穂町)	六道山公園	狭山丘陵ウォーキング、お囃子、子供の集い、大道芸など	瑞穂町観光協会 (042-557-3389)
	中旬予定	神津えびね展 (神津島村)	生きがい健康センター	えびね愛好会によるえびねの展覧会	神津島村産業観光課(04992-8-0011)
	15(日)	長浜祭り (神津島村)	阿波命神社	阿波命神社例大祭	神津島村産業観光課(04992-8-0011)
	20(土)~21(日)	小金井公園子どもフェスタ (小金井市)	小金井公園	ミニSL運行、ミニ動物園、ステージイベント、風揚げ教室、竹馬体験、模擬店など	小金井公園子どもフェスタ実行委員会 (042-385-5611)
	21(日)~22(月)	大悲願寺・木造伝阿弥陀如来三尊像 御開帳(あきる野市)	大悲願寺	国重要文化財「木造伝阿弥陀如来三尊像」の年1回の御開帳(21日は11時と15時、22日は13時と15時に御開帳)	大悲願寺(042-596-0141)
	3(金・祝日)~4(土・祝日)	ウォーキングフェスタ東京ツデー マーチ(小金井市)	小金井公園	マイペースで楽しく歩く。やさしく楽しい健康づくりは歩くことから。みんなが参加し地域を知ろう。仲間になろう	日本ウォーキング協会 (03-5256-7855)
	11(土)	伊豆大島 ジョパークマラソン大会 (大島町)	大島町内	フルマラソン、50km、10km、5kmの各コース	ジョパークマラソン実行委員会 (事務局・大島町観光課: 04992-2-1446)
	11(土)~12(日)	第8回 うまかんべ〜祭 (東大和市)	東大和南公園	東大和市の食文化を産して住民が交流し、地域社会を元気にする祭、グルメコンテスト、ウォーキングイベント、フリーマーケットのほか商工会館によるランニングイベントを行う	うまかんべ〜祭実行委員会(東大和市産業振興課商工観光係:042-563-2111)
11(土)~12(日)	第22回 ひの新選組まつり (日野市)	11日 高橋不動尊周辺 12日 JR日野駅前中州街道周辺	11日 新選組隊士コンテスト、隊士慰霊祭 12日 新選組隊士パレード、武道・武術披露	日野市シティセールス推進課 (042-585-1111)	
12(日)	第10回 残堀川ふれあいイベント&ふれあいウォーキング(瑞穂町)	狭山池公園および瑞穂武道館	ステージイベント、ポニー乗馬、ふわふわ、町内各種団体の模擬店など	瑞穂町産業課 (042-557-7633)	
12(日)	LINKくにたち2019 (国立市)	大学通り(国立駅南口ロータリーから桐朋学園交差点間)	市民・団体が様々なスポーツにチャレンジし、連帯感・達成感を共有。リレーマラソン、わんぱく相撲、ダンス、障害者スポーツ体験など	LINKくにたち2019実行委員会 (国立市まちの振興課内:042-576-2111)	
18(土)	第28回 新島トライアスロン大会 (新島村)	新島地内	新島を舞台にした、スイム、バイク、ランの鉄人レース	東京アイランドシリーズ大会事務局 (042-379-2585)	
18(土)~19(日)	第50回 ジュリア祭 (神津島村)	神津島村内	神津島に流刑になったキリシタン「おたあジュリア」の遺徳を偲ぶイベント	神津島村産業観光課(04992-8-0011)	
25(土)~26(日)	第11回 あさしま郷土芸能まつり (昭島市)	昭和の森いちょう並木	市内で伝承されてきた神輿や伝統文化を一堂に集め、披露するまつり	あさしま郷土芸能まつり実行委員会 (042-519-2114)	

念のため、主催者に日にち・会場などを確認の上、お出かけください(3月末からのイベントも収容しました)



▲にぎわいをみせた
「Tokyo島まるしえ」

「Tokyo 島まるしえ」

2019 in
イトーヨーカドー

初のスーパーでの開催！新開発の商品も並び、にぎわう

東京都商工連合会と島しょ地域の各商工会は1月9日~14日の6日間、東京・大井町のイトーヨーカドー大井町店で、東京・島しょ地域の物産展「Tokyo島まるしえ2019」を開催しました。スーパーマーケットでの島まるしえの開催は初の試みです。大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、小笠原諸島から届いた名産品を都区内の皆様にも紹介する年に1回の催しです。各島の商工会が厳選した、くさや、赤いか、海苔、塩辛などの水産加工品、明日葉を使ったお菓子やお茶、島唐辛子や塩などの調味料、パッションフルーツ加工品、椿油など、普段はなかなか手に入らない島の逸品、をふんだんに揃えました。ターミナル駅直結という好立地で、時間帯にかかわらずお客様が途切れることがなく、にぎわいをみせました。目的の製品をいち早く見つけ複数買うお客様、レジカゴ一杯に島の調味料を詰め込むお客様など、それぞれに島の物産の買い物を楽しんでいるようでした。人気の「赤いか入り塩辛」、「焼きくさや」など早々に売り切れる商品が続出し、追加することもしばしば。今回は大島からレトルトパックの「ゴジラカレー」など新たに開発された商品も販売、注目を集めていました。

大島町の事業者が開発した
ゴジラカレー



R70 再生紙を使用しています。